

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームつつじⅢ 第1ユニット	評価実施年月日	平成21年4月～平成21年12月
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年2月21日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>できるだけ その方らしく過ごせるようにと考えています。又、地域密着を基盤とした理念を掲げています。</p>	○	<p>理念は いつも思い浮かべることができるようにスタッフの休憩室に貼ってあり、又 社内研修時に読み合わせを行っています。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>月に1度行っている社内研修の中でスタッフ一人一人確認を行っています。日頃からご利用様を敬う気持ちを大切に考えています。</p>	○	<p>理念の意味をスタッフ間で共通理解し ご利用者様をお支えしていきたいと思えます。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>ホーム内の玄関や廊下に理念を掲示し ご家族や来訪者がみえた際、 いつでも見て頂けるようにしています。</p>	○	<p>2か月に1度の運営推進会議には ご利用者様、ご家族、地域の方に参加して頂いていますので理念についてお話する機会を設けていきたいと思えます。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>ご近所の方とお会いした際は ご挨拶させて頂いています。近隣の美容室の方が訪問して下さいます。</p>	○	<p>日常的な交流が あまり機会が少ないため今以上に深められるよう努めていきたいと思えます。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>地域のボランティアの方々に来て頂いています。小・中学校の催しの際に お知らせして下さいます。</p>	○	<p>近くの病院の盆踊りのお誘いを受けて参加させて頂いています。小学生や中学生が立ち寄れるよう今後も交流を続けていきたいと思えます。</p>
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>NPOの皆さんにいつも協力頂いています。</p>	○	<p>毎年 畑・花壇造り・夏祭り・音楽会のお手伝いをして頂いています。これからもより地域の方とのふれあいを続けていきたいと思えます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価・外部評価を行う事で あらためて改善点を見直し取り組んでいます。</p>	○	評価して頂く事で スタッフ間で内容を把握し1つずつ取り組んでいこうと思います。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2か月に1度 運営推進会議を行い ご家族や地域の方、ご利用者様に参加して頂いています。</p>	○	会議の際 皆さんからのご意見を大切にしながら取り組める事から行ってきたいと思っています。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>毎年参加させて頂いている ふれあいフェスタはインフルエンザの流行の為 参加見合わせましたが 札幌市主催の協議会や手稲区の連絡会に出席しています。</p>	○	今後 行き来できる機会を増やしサービスの質の向上に心掛けたいと思います。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>社内研修の際 学ぶ機会を設けています。</p>	○	社内研修等を通してスタッフ間で知識を深め今後も継続して学んでいきたいと思っています。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>社内研修の際、議題に盛り込み学ぶ機会を設けています。昨年12月にスタッフが講習参加しています。</p>	○	外部の研修にも参加し伝達講習を行っています。スタッフ一人一人がより深く虐待の防止について深く考えていけるようにと考えています。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約の際 契約書の読み合わせを行い不安な点や疑問はないか伺い、ご家族とよくお話しをさせて頂いています。</p>	○	契約前に ご本人やご家族に見学をして頂き、ホームでの生活の様子をお伝えしています。心配事を伺い、1つずつ お伝えしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常の会話の中から ご意見等があった場合、個別にお話しを伺ってます。	○	相談室や事務所などで できるだけお気持ちに添えるように心掛けています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	面会の際 日々の様子をお伝えしたり定期的に ご家族にお手紙を出しています。近況についてお電話でもお伝えしています。	○	小さな事でも ご家族にお話ししながら連絡を続けたいと思います。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会の際 お話をお伺いしたり面会簿に ご意見等を書いて頂けるようにしています。ご意見箱を玄関に設置しています。	○	ご家族の思いを気軽にお話しして頂けるようにと思っています。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的にフロア会議を行い職員の意見を聞く機会を設けています。	○	フロア会議の内容をまとめ意見や提案があった時は 話し合いを行い今後に反映できるようにと思っています。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	日頃から勤務の調整や確保についての話し合いが行われていて応援体制があります。	○	状況に間にあう時は他階スタッフの応援で調整しています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	日常的に他階との交流や情報の共有を行い顔なじみになる事で異動による ご利用者様の不安なお気持ちを軽減できるよう配慮しています。	○	不安があれば 管理者が お気持ちを伺ったり少しでも心配事がなくなるよう心がけています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	月に1回の社内研修は各階 管理者が中心となりスタッフと作りあげていっています。	○ 社内・社外研修の参加・資格試験を目指す等 前向きに学ぶ時間を持つようと思っています。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	手稲協議会・札幌市管理者会議に参加し交流する機会をもち社外研修等で意見の交換を行いサービスの質の向上に努めています。	○ 近況をお話ししながら 共有の場面で情報交換をさせて頂き 交流を深めていきたいと思っています。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	職員一人一人から話しを聞ける関係を築けるよう努めています。	○ 仲間同士で気軽に話したり 一緒に出掛けたりしています。今後も仲間の声が聞ける働きやすい環境でいられるように心がけていきたいと思ます。
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	一人一人の得意な所を理解し評価しています。	○ 苦手な所も理解し互いにカバーしたり克服できるよう向上心を持って働けるよう取り組んでいます。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	不安なお気持ち等、ゆっくりお話しをお伺いしています。お気持ちを上手く表現する事が難しい方には小さな変化に気付けるよう日々見守り こちらからお気持ちを打ち明けやすいよう声掛けをします。	○ ご本人のお気持ちに添えるよう時間をかけて関わりを持ち 安心につながるよう心がけています。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	ご家族の方が面会の時やお電話で いつでもお話しを伺う事ができる状態にあります。	○ これからも不安な事等ご相談して頂けるよう ご家族と職員の信頼関係を築いていきたいと思ます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談を受けた際 ご家族とお話し、対応できるよう努めています。	○	ご本人やご家族の状況に合った対応をできるようにと思っています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	いきなりの利用をお勧めするのではなく 見学をして頂き ここでの雰囲気や様子を見て感じてもらう事により ご利用者様やご家族の方に納得、安心して頂けるよう努めています。	○	いつでも見学できるような状況を整えています。ご本人が慣れ親しんだ生活やお気持ちを考慮し安心して生活できるようにと思っています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	スタッフ、ご利用者様がお互いに持ちつ持たれつ関係を築く事ができるように 又得意な事を続けられるようにと思っています。	○	ご利用者様から教わりながら より笑顔で過ごして頂けるような環境作りを行っていきたくと思います。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様の様子をこまめにご家族に連絡し どんな事でも話せる環境を作るよう心掛けています。	○	ご家族がスタッフに話しやすいような信頼関係をもっと作っていただけるようにこれからも色々なお話を伝えさせて頂き、ご本人を支援していきたいと思っています。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	スタッフは今までの ご利用者様やご家族の状況・様子を把握し よりよい関係に向けた支援をしていけるように努めています。	○	面会時、お手紙・お電話で日々の様子をお伝えしたり ご家族からの お話を伺っています。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	今の事だけではなく、これまでのご利用者様の生活も含め、馴染みの事を継続していただけるよう支援しています。	○	お友達や親戚の方、お坊さんなど訪ねてこられます。今後も継続していきたいと思っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	お一人お一人の考え方や環境を尊重し、その上で、ご利用者様同士の関わりが安心してつながれるようお手伝いしています。	○	孤立している、ご利用者様はいないかスタッフ間で情報を共有し常に様子を見守りしていきたいと思います。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	近隣の病院で、お見受けする事があります。ご家族の方に、ご挨拶させて頂いています。	○	いつでも、気軽に立ち寄って下さるよう、お声掛けさせて頂いています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常日頃、ご利用者様のお気持ちや希望を伺える状態にありたいと務めています。ご友人が来訪される方もいらっしゃるの、そういう時間を大切にしたいと思います。	○	よりご利用者様のお気持ちを尊重することができるような環境作りを今後も心がけていきたいと思います。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人やご家族にお話を伺ったり、フェースシートやインフォメーションを職員間で共有し他階職員とも連携をはかっています。	○	何気ない普段からのお話の中からも馴染みの暮らし方などを教えて頂いています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	ご利用者様の持っている力を生かしていけるように日々の変化がわかるよう努めています。	○	ご利用者様の日々の様子をより把握できるようスタッフ間の情報交換を深めていきたいと思います。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	新しく入所される方は関係機関やご本人・ご家族と連絡をよくとり、ご本人が望まれる介護計画の作成をしています。定期的に時間を設けたり、都度何かあればスタッフで集まり話し合いを行なっています。面会時やお電話でご家族の方から伺ったお話や意向・又ご本人からのお話を基に作成しています。	○	ご本人・ご家族が遠慮なく意見や意向を延べやすい環境でありたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監視のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	ケアマネージャーと共に計画書の見直しはもちろんのこと病気などによる状況変化にはすぐ対応できるよう ご本人・ご家族・医療機関など連携をとりながら介護計画の見直しを行っていきます。	○	今後も日常生活の様子に変化があったり、ご本人・ご家族のお話の中から必要なときはすぐに介護計画の見直しを行っていききたいと思います。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の記録を行なっています。変化や感じた事をスタッフで情報を共有しケアに反映したり必要なときは、ご本人・ご家族と話し合い介護計画の見直しを行なっています。	○	フロアのミーティングや連絡ノートを活用し細やかな情報の共有を行いスタッフ間の伝達が続けたいよう努めています。今後も継続し介護計画の見直しをしていききたいと思います。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	他階にデイサービスがあり余暇活動などで交流する場面があり楽しんで頂いています。	○	デイサービスと一緒にこなせる行事を考えていききたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	推進会議には地域包括支援センターの方、民生委員さんが出席して下さり地域の方に ご利用者様の声を聞いて頂いています。年に1~2度 消防の方に来て頂き 避難訓練等を行って頂いています。近隣の美容室を利用して冬期間は訪問して下さいます。	○	地域の方々とふれあいながら 協力を得て安心して暮らしていきたいと思えます。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域のケアマネージャーや病院の相談員の方に相談させて頂いています。	○	ご利用者様が安心できるよう ご家族の方のお気持ちをふまえて連携をとり今後も支援していききたいと思います。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	2か月に1度 運営推進会議のお知らせをさせて頂き定期的に出席して下さっています。	○	地域包括支援センターは、どういう仕事をしているのか等、推進会議の中でご利用者様やご家族の方にわかりやすく説明して下さいます。こういった関係作りの中から連携の輪が広がっていきように思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	受診同行を行なっています。ご家族が同行される時は問題なく受診できるよう支援し受診状況の共有をしています。主治医と連携をとり変化のある時は相談・受診できる体制にあります。	○	ご本人やご家族の意向を大切に今後も受診・相談していきます。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	かかりつけの病院の主治医に日頃の様子や変化について相談や診察等 お願いしています。	○	理解ある かかりつけ医がいますので これからも相談を続けていきたいと思えます。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけ病院の外来看護師に相談させて頂いています。	○	日常の変化や心配事などをいつでも相談しています。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	ご利用様が入院された時は医師や看護師に現状について伺い ご家族と連絡を取っています。	○	入院された所の医師・看護師又は相談員の方と入院時の状態や退院後の事など情報交換をしています。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ご本人や ご家族のお気持ちを伺い協力病院や施設等に相談しています。	○	かかりつけ医に相談し その方にあつた場所で安心して過ごせるようこれからも支援していきたいと思えます。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご本人の状況を把握し ご家族とお話しし かかりつけ医の指示のもと 対応しています。	○	ホームでの生活の中でケアの行なえる事を支援できたと思えます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	ご本人のお気持ちに配慮しご家族と話しあいを行います。	○	ご家族の方と十分な話し合いを行い ご本人が過ごし易い場所へとなるべく配慮しています。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			○	
1. その人らしい暮らしの支援			○	
(1)一人ひとりの尊重			○	
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	常日頃より人生の先輩である方々である事を念頭におき接しています。	○	お一人お一人に言葉を選び不快な思いにならないように心がけており目上の方という事を忘れず敬う気持ちをこれからも大切にしていきたいと思えます。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	ご本人が自分の思いを話し スタッフの間でその思いを共有し日頃から声に出したり表せるようにと お手伝いしています。	○	都度ご本人に確認してから行い 場合によりご家族の方に確認をとりながら行なっています。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	焦ることなく ゆっくり その日のご本人のペースで行なっていただいています。	○	お一人お一人の考えやペースがあるので できるだけ希望に添えるように支援していきたいと思えます。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	ご近所の美容室・理容室に行き定期的に通っています。ご本人の希望がある際は、ご家族と馴染みの美容室へ行かれる事もあります。	○	ご自分で服を選んだり化粧をする。髭を剃るなど 今まで行なっていた事が続けられるようにと思えます。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	個人個人の得意な事は違いますので その方と一緒にいき お手伝いして頂き お礼を伝えています。	○	お一人お一人に合わせて 無理をすることなく出来る事を一緒に続けて行く事で自信になったり又 皆さんと食事をする中で有意義な時間になるように心掛けています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	飲み物・おやつなどは好みの物など ご家族と話しお預かりし適宜お出して食べて頂いています。	○	食べ物に制限のある方もいらっしゃいます。できるだけ味付けに工夫したり食欲が増すようにと努めています。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	その方の排泄状況をスタッフ間で共有し自尊心を考え声掛けや誘導を行います。	○	ご本人のお気持ちを何より最優先に考え排泄が自然に安心して行なえるようにと思っています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	ご本人の希望がある時 なるべく入浴できるようにと思っています。	○	入浴は、ご本人の習慣がありますので 快適な入浴になるよう安心して入って頂けるようにと努めています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	その方の生活習慣や睡眠間隔を把握し安心して眠れるようにと思っています。	○	その時の心理面や日中の活動などを知りリラックスできるよう配慮していきたいと思っています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	ご本人が得意だった事や日課で行なわれていた事、役割や楽しみ事など行って頂いています。	○	ご本人が今できる事を続けていきたいと思えるよう、生活に張りが持てるようこれからもお手伝いしていきたいと思っています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人がお金を少し持っていていらっしゃる方は数名いらっしゃいます。万が一の時を考え ご家族に相談。場合により了承を得ています。おこづかいは事務所金庫にお預かりしています。	○	ご本人の所へ お寺さんが来る時はお布施を用意したり 病院受診の帰りに買物にお誘いする事もあります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気の良い日は外に散歩に出かけたり近く美容室に出かけています。	○	天候や体調に考慮し散歩や花壇・畑の手入れなど外に出る機会を作っています。これからも季節を感じられたり ご家族と出かけられたり そういう時間を大切にしていきたいと思います。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	春と秋で手稲近郊の公園や景色を見にバスで出かけています。	○	お弁当を買ったり 自分達でおにぎりを作ったり 天気の良い日に出かけられる楽しみをこれからも続けたいと思います。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	ご本人より申し出がある時は 電話を取り次ぎます。ご家族への手紙を書かれる方もいます。携帯電話を持っている方は、ご家族や友人に連絡しています。	○	今後もご本人の要望や ご家族や友人との交流を色々な形で支援していきたいと思います。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族や友人の方が訪問された時は居心地良く過ごして頂けるよう、お茶や椅子をお勧めし、ゆっくりした時間を過ごして頂こうと心掛けています。	○	ご家族や友人が気軽に訪問しやすい ゆったりとした雰囲気作りや対応に努めていきたいと思います。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内研修で身体拘束を学習、確認を行っています。身体拘束廃止推進委員会を年に数回職員で行なっています。	○	今後も研修内容を忘れず 敬う気持ちを大切にケアに取り組みたいです。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	居室に鍵はかかっています。ご利用者の安全上 玄関に鍵がかかっている時間帯があります。	○	やむを得ない場合を除いては鍵をかけないケアに取り組めるよう努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	フロアや食堂にいらっしゃる時は近くで見守り居室で過ごされている時はプライバシーに配慮しながら声掛けし様子を見守ります。	○	プライバシーに配慮し日常生活のリズムに添った見守りを行なっていきたいと思ひます。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	はさみ・爪切り・裁縫道具・ひげ剃りなど心配のないようこちらでお預かりし必要時にお渡しし見守ります。	○	今後も安全性を考慮した取り組みを続けていきたいと思ひます。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	その日の体の機能の状態を把握し事故が起こらないよう細心の注意に心掛けています。	○	事故防止の為に知識を高め迅速に対応できるように努めたいと思ひます。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	社内研修にて救急車が到着するまでに出来る事など勉強し又救命救急の講習を受けているスタッフより伝達講習を行なっています。	○	緊急時に迅速に対応できるよう研修内容を復習し身につけるよう努力しています。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	週に1度 各フロアでご利用者様とスタッフと一緒に避難訓練を行なっています。隣接の病院に応援協力が得られるようお伝えしています。	○	週に1度 避難訓練を共に行なう事で再確認ししっかりと身につける事を考え これからも続けていきます。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	ご利用者様の様子の変化や病院受診の様子など安全に過ごせるように考えている事をお伝えしています。	○	ご家族と一緒にご利用者様のリスクが少なくなるよう生活での出来事や変化について都度 お話しさせて頂いています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日の検温、バイタル、排泄状況、食事の摂取状況等を把握し体調に変化などあれば他のスタッフに報告、確認し対応できるよう努めています。必要時にはただちに医療機関と連携をとり対応しています。	○	常にスタッフ間の情報を共有し一人お一人の体調や異変に素早く気付けるよう変化に注目しています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	お一人お一人の服薬方法、時間を把握し その都度 日付、お名前を確認し飲み込みができるまで そばで見守りしています。	○	ご利用者の薬の内容、目的などを知り 服薬方法をよく理解し支援できるようにします。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分をなるべく多く摂取して頂いたり 生活の中で体操や運動を適宜 取り入れています。水分や排便のペースが大体わかるよう表を用いています。排便間隔に問題がある時は医療機関に連絡し指示を仰いでいます。	○	排泄状況を把握し便秘にならないよう生活の工夫をしていけるよう心がけます。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後 声掛けします。見守りの中 磨き残しがある場合は援助します。定期的にハブラシやコップ等消毒を行なっています。必要時には歯科受診の同行を行い口腔内の状況を診て頂いたり治療して頂けるよう支援しています。	○	お一人お一人の口腔状態、口臭などの変化を日頃からわかるよう今後も支援していきたいと思います。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	お一人お一人の食事量、水分量のチェックをし記録をしています。調理方法や味付けに工夫し 水分の勧め方も工夫しています。	○	無理なく栄養や水分が十分に摂取できるように今後もスタッフ間の情報を共有し工夫していきたいと思います。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出後や面会時の手洗い、うがいの励行、食事前の手洗いや消毒を行い社内研修で学習し月2回の訓練を行ない予防や対応に取り組んでいます。外来者へ必要に応じて手洗い・消毒・うがい・マスク使用の協力をお願いしています。	○	毎月の訓練や研修で学習した事を常に心がけ今後も予防、対応に取り組んでいきたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	生鮮食品は必要食材のみの発注を基本としています。調味料等は消費期限などに注意を払っています。調理用具等使用した後すぐ洗いまな板、スポンジ・ふきんなど毎日消毒しています。	○	これからも消毒の徹底して行い衛生管理を行なっていきたいと思っています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			○	
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	段差がなく歩行状態を考えた緩やかなスロープや手すりが付いています。玄関周りには小さな畑や花壇もあります。	○	小さな花壇にはつつじが咲いています。花の水やりなど ご利用様に習って続けていきたいと思っています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用の空間は掃除を行いきれいにし季節感を味わえる花や風景画等の配置を行っています。	○	日射しを多く感じ 季節感を感じながら安心して過ごせるようにと努めています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアにソファ配置し隣に座ったご利用者様、スタッフと会話できる空間があり又 小人数掛けのソファやベンチ椅子で個人の楽しめる場所もあります。	○	ご利用者様が思い思いに過ごせるように それぞれの方の時間を尊重しています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には今まで使用していた家具等を置いて頂き 過ごしやすくように配慮しています。	○	寝台、家具、身の周りの物は今まで使っていた物を使用して頂き これまでと変わらずくつろげるようにと思っています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	必ず掃除中や適宜時間を見計らって換気を行なっています。季節に応じた温度、湿度調節を行なっています。湿度計を見て 濡れたタオルを使用し調整しています。	○	冷たい空気や強い日射しが直接 ご利用者様にあたらないよう工夫しています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	段差がなく 玄関外にスロープと手すりがありフロアにも手すりがあります。つまづきや不安防止にスポットライトもあります。	○	手すりの高さや床材は安定している物を使っています。キッチンの流し台低めに作られています。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	ご利用者様のお気持ちに都度 配慮し 今行なえる事を続けて頂けるように お手伝いしています。	○	無理強いせず 人生の先輩として言葉遣いに配慮し 自信につながるよう支援していきたいと思います。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	建物の周りには小さな畑やプランターに色とりどりの花があります。天候の良い日は、外で花や畑の手入れを行い収穫の時期を待ちます。近くにベンチ椅子を置きお茶を楽しめます。	○	中庭があり 季節感を感じています。お部屋から見える公園では小さな子供さんが遊んでいたりと 山並みの景観も美しいです。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) ご利用者様の目線にたち 安心して穏やかに過ごせるように お手伝いをさせて頂きたいと思ひます。